

第 79 回国民スポーツ大会（SHIGA2025）宮城県代表選手選考要項

- 1 大会期日 : 2025 年 10 月 3 日（金）-10 月 7 日（火）まで（5 日間）
- 2 会 場 : 平和堂 HATO スタジアム（彦根総合スポーツ公園陸上競技場）
- 3 種別（種目）及び参加人員
 - (1) 監督 2 名、選手 29 名（男子 19 名以内、女子 19 名以内）計 31 名以内で編成し、種別、種目は表 1 のとおりとする。
監督、選手の兼任は 1 名とし、その場合は参加選手を 30 名とすることができる。

表 1 競技種別・種目一覧

	種別	種目	共通種目	混合種目	
男子	成年	100m 300m 800m 110mH 400mH 3000mSC 走高跳 走幅跳 砲丸投 円盤投 やり投	4 × 100mR	男女混合 4 × 400mR	
	少年 A	100m 300m 5000m 300mH 5000mW 三段跳 円盤投 ハンマー投 やり投			(共通) 800m 110mH 走高跳 棒高跳
	少年 B	100m 3000m 走幅跳 砲丸投			
女子	成年	100m 300m 800m 100mH 400mH 10000mW 走高跳 棒高跳 三段跳 砲丸投 ハンマー投 やり投	4 × 100mR	男女混合 4 × 400mR	
	少年 A	100m 300m 800m 3000m 300mH 2000mSC 5000mW 三段跳			(共通) 100mH やり投
	少年 B	100m 1500m 走幅跳			

- (2) 参加は、下記の出場制限によるものとする。
 - ア 1 種目 1 名、同一人の出場は 2 種目までとする。ただし、リレーは除く。
 - イ 本要項 6 に定める予選会に出場しなかった種目には出場できない。ただし、1 種目のみ出場し、その種目の代表となった者は予選会に出場しなかった他の 1 種目にも出場できる。
 - ウ 4 × 100m R の編成は、男女とも成年、少年 A、少年 B から各 1 名、残りの 1 名は成年、少年 A、少年 B のいずれかの種別から選出するものとし、計 8 名以内で申し込むことができる。なお、選手変更については、日本陸上連盟競技規則によるものとする。

- エ 男女混合 4×400m R の編成は男女 2 名ずつとし、合計 8 名以内で申し込むこと。男女ともに少年 A もしくは少年 B から各 1 名、残りの男女 1 名は成年、少年 A、少年 B のいずれかの種別とする。なお、走順は男子-女子-男子-女子とする。
- オ リレーに出場する者は、予選会のどの種目であっても参加していれば出場できる。
- カ 成年女子 10000mW の出場者は、5000mW の予選会を経た者でもよい。少年男子 A5000mW、少年女子 A5000mW の出場者は、10000mW 又は 3000mW、いずれかの予選会を経た者でもよい。
- キ 成年男子 3000mSC には、少年男子からもエントリーできる。ただし、エントリーできるのは成年男子または少年男子 A いずれかの 1 名のみとする。
- ク 成年女子走高跳には、少年女子 A からエントリーできる。ただし、エントリーできるのは成年女子または少年女子 A いずれかの 1 名のみとする。
- ケ 成年女子棒高跳には、少年女子 A からエントリーできる。ただし、エントリーできるのは成年女子または少年女子 A いずれかの 1 名のみとする。
- コ 少年男子 B3000m の出場者は、1500m の予選会を経た者でもよい。
- サ 成年男子 300m ・少年男子 A 300m ・成年女子 300m ・少年女子 A 300m の出場者は、100m、200m、400m の予選会を経た者でもよい。
- シ 少年男子 A300m H ・少年女子 A300m H の出場者は、200m、300m、400m、110m H/100m H、400m H のいずれかの予選会を経た者でもよい。
- ス 少年女子 A2000mSC の出場者は、2000mSC の予選会を経た者のみとする。

4 競技上の規則及び方法

2025 年度日本陸上競技連盟競技規則によるもののほか、下記の要領で実施する。

- (1) 少年男子 A 300m H のハードルの高さは、0.914m とする。
- (2) 少年男子 A 円盤投の円盤の重さは、1.750kg とする。
- (3) 少年男子 A ハンマー投のハンマーの重さは、6.000kg とする。
- (4) 少年男子 A やり投のやりの重さは、800g とする。
- (5) 少年男子 B 砲丸投の砲丸の重さは、5.000kg とする。
- (6) 少年男子共通 110mH のハードルの高さ／ハードル間は、0.991m／9.14m とする。
- (7) 少年女子 A300mH のハードルの高さは、0.762m とする。
- (8) 少年女子共通 100mH のハードルの高さ／ハードル間は、0.838m／8.50m とする。
- (9) 少年女子 A やり投のやりの重さは、600g とする。
- (10) 資格記録の有効期間は 2025 年 1 月 1 日 (水) から 2025 年 8 月 24 日 (日) までとする。

5 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

- (1) 監督・選手は、日本陸上競技連盟登録者であること。
- (2) 参加資格・所属都道府県

総則 5- (1) (2) に定めるもののほか、次による。

- ア 日本国籍を有しない者については、学校教育法第 1 条に定める学校に在籍する生徒に限り、少年の種別に各都道府県、男女 1 名以内で参加することができる。
- イ 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認陸上競技コーチ 3、公認陸上競技コーチ 4 (以上、J A A F 公認コーチ)、または公認陸上競技コーチ 1、公認陸上競技コーチ 2 (以上、J A A F 公認ジュニアコーチ) の資格を有する者とする。

なお、監督、選手兼任の場合も同様とする。

ウ ふるさと選手制度については、第79回国民スポーツ大会実施要項総則5（別記1を含む）の規定による。

(3) 選手の年齢制限

ア 成年の部に参加する競技者は、2007年4月1日以前に生まれた者とする。

イ 少年Aの部に参加する競技者は、2007年4月2日以降2009年4月1日までに生まれた者とする。

ウ 少年Bの部に参加する競技者は、2009年4月2日以降に生まれた者とする（ただし、中学生は3年生のみ参加できる）。

6 選考方法

本大会に準じて本要項3に定めた方法により、代表を選考する。予選会、参考競技大会を以下に設定し、本要項7に示す選考基準に則り選考する。

【予選会】

- ・国スポ予選会Ⅰ（宮城県春季陸上競技選手権大会）
- ・国スポ予選会Ⅱ（宮城県陸上競技選手権大会）
- ・国スポ予選会Ⅲ（ユニバーサル陸上）
- ・宮城県高等学校総合体育大会陸上競技大会
- ・宮城県中学校総合体育大会陸上競技大会
- ・全日本中学校通信陸上競技宮城県大会

【参考競技大会】

- ・日本陸上競技選手権大会（以下、日本選手権）
- ・全国高等学校総合体育大会陸上競技大会（以下、インターハイ）
- ・日本学生個人陸上競技選手権大会
- ・日本学生陸上競技対抗選手権大会（日本インカレ）
- ・各地域実業団陸上競技選手権大会
- ・各地区学生陸上競技選手権大会（地区インカレ）
- ・東北高等学校陸上競技大会
- ・東北中学校陸上競技大会
- ・全日本中学校陸上競技選手権大会（以下、全中）

7 選考基準（優先順位）

- (1) 種別・種目ごとに選考基準および標準記録を設け、優先順位に則り選考する（表2）。ただし、成年男子 300m・少年男子 A300m・成年女子 300m・少年女子 A300m・少年男子 A300m H・少年女子 A300m Hは別に選考基準を設ける（表3）。

表2 選考基準

種別	成年	少年A、少年共通	少年B
選考基準	1) 日本選手権において入賞する（複数の場合は上位）。 2) 有効期間内に標準記録を突破し、国スポ予選会Ⅱにおいて種目種別最上位となる。	1) 日本選手権において入賞する（複数の場合は上位）。 2) インターハイにおいて入賞する（複数の場合は上位）。 3) 有効期間内に標準記録を突破し、国スポ予選会Ⅱにおいて種目種別最上位となる。	有効期間内に標準記録を突破し、国スポ予選会Ⅱにおいて種目種別最上位となる。
資格記録有効期間	2025年1月1日～2025年度国スポ予選会Ⅲ終了日までの公認記録	2025年1月1日～2025年度インターハイ終了日までの公認記録	2025年1月1日～2025年度全中終了日までの公認記録

表3 選考基準（300m・300mH）

種別	成年男女 300m・少年男女 A300m	少年男女 A300mH
選考基準	1) 有効期間内に 300mにおける標準記録を突破し、国スポ予選会Ⅱにおいて種目種別最上位となる。 2) 有効期間内に 200m・400mにおける標準記録を突破し、国スポ予選会Ⅱにおいて 200m・400mの種目種別最上位となる。（複数の場合は、予選会および参考競技会の結果から総合的に判断する）。	1) 有効期間内に 300m Hにおける標準記録を突破し、国スポ予選会Ⅱにおいて種目種別最上位となる。 2) 有効期間内に 400m Hにおける標準記録を突破し、国スポ予選会Ⅱにおいて種目種別最上位となる。
資格記録有効期間	種別ごとに表2に準ずる	

- (2) リレーに出場する競技者について、リレーの特性を考慮し強化委員会が内定者を決定する（選手団編成上、リレー種目へのエントリーを行わない場合もある）。
- (3) 資格記録および予選会、参考競技会の結果から総合的に判断し、強化委員会が推薦する選手を内定とする。

※国スポ予選会Ⅲの開催種目は、日本選手権エントリー以降に宮城陸協が必要と認めた成年種目とする。

例) 日本選手権に出場し、国スポ予選会Ⅱへ出場できなかった選手のいる種目

※特例措置

国スポ諸規定【トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置】より、以下の条件のいずれかを満たす者は予選会が免除される。

- (1) 大会開催の直前に開催されたオリンピック競技大会に参加した者。
- (2) 2025年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、日本陸上競技連盟が本特例の対象として認めた者。
 - ア JOCアスリートプログラム強化指定選手
 - イ 国内ランキング上位10位以内の者
 - ウ 日本陸上競技連盟強化指定選手

8 標準記録（別紙1）

9 選手決定の流れ

- | | |
|----------|-------------------------|
| 7月 6日（日） | 第1次選考会議 |
| 7月中旬（予定） | 第1次内定選手の通知（宮城陸上競技協会 HP） |
| 8月 1日（金） | 第2次選考会議 |
| 8月上旬（予定） | 第2次内定選手の通知（宮城陸上競技協会 HP） |
| 8月24日（日） | 最終選考会議 |
| 8月下旬（予定） | 宮城県選手団の発表（宮城陸上競技協会 HP） |

10 その他

- (1) 選考対象選手と強化委員会が判断した競技者に対して、個人調書の作成を依頼し、個人調書の作成をもって、国スポへの参加意思があるものと判断する。個人調書は国スポ選考以外の目的では使用しない。
- (2) 選考会議の結果により、内定となる競技者（所属先）には8月24日（日）までに強化委員会より連絡があるが、それ以外の競技者（個人調書作成者）への連絡は行わないので、下記連絡先へ問い合わせるか、宮城陸上競技協会 HP 上での発表を確認すること。
- (3) 怪我などのため、本大会で競技力が発揮できないような事態が生じた場合は代表を取り消す場合がある。
- (4) 代表へ選出された選手は、合宿・練習会に原則参加すること。

《問い合わせ先》

一般財団法人 宮城陸上競技協会強化委員会
強化委員長 宮崎利勝（仙台大学）
TEL&FAX 0224-55-1205（直通）
E-mail ts-miyazaki@sendai-u.ac.jp